

性の多様性に関する Web アンケート調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

性の多様性に関する市民意識を把握し、性的マイノリティの人権に関わる今後の施策展開を検討する上での基礎資料とする。

(2) 対象者

市内在住・在学・在勤の人

(3) 実施期間

令和2年10月14日（水）～11月9日（月）

(4) 周知方法

広報いせはら、市公式ホームページ、暮らし安心メール

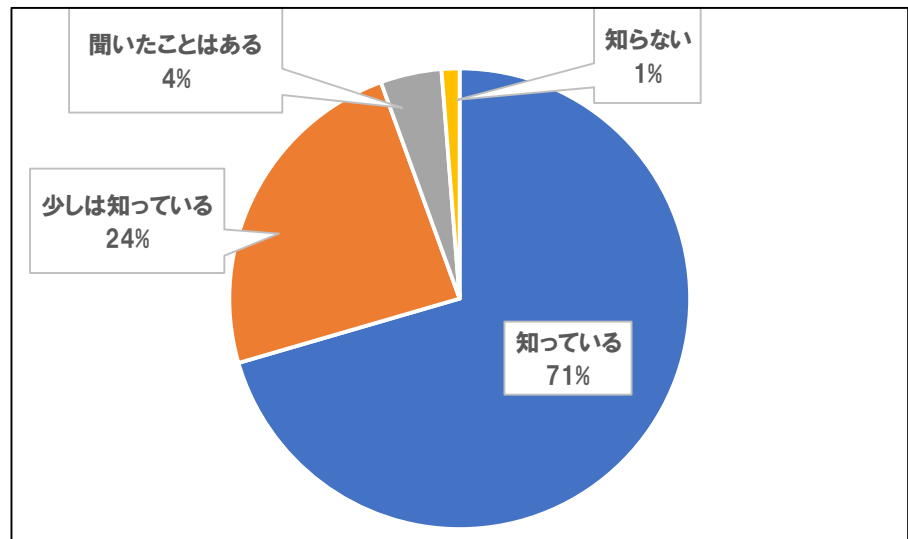
(5) 回答件数

468件

2 調査結果

問1 「性的少数者（性的マイノリティ）」とは、LGBT【レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（体と心の性に違和感がある人）】など、性のあり方が多数派とは異なる人のことをいいます。「性的少数者（性的マイノリティ）」または「LGBT」（両方またはどちらか一方）という言葉について、あなたの理解度として当てはまるもの一つにチェックしてください。

知っている	330
少しは知っている	112
聞いたことはある	20
知らない	6
合計	468



性的マイノリティに関する正しい言葉と意味を理解し、使用することは当事者と当事者以外の相互理解に向けた第一歩として重要であると考え、「性的少数者（性的マイノリティ）」の言葉の認知度を尋ねた。

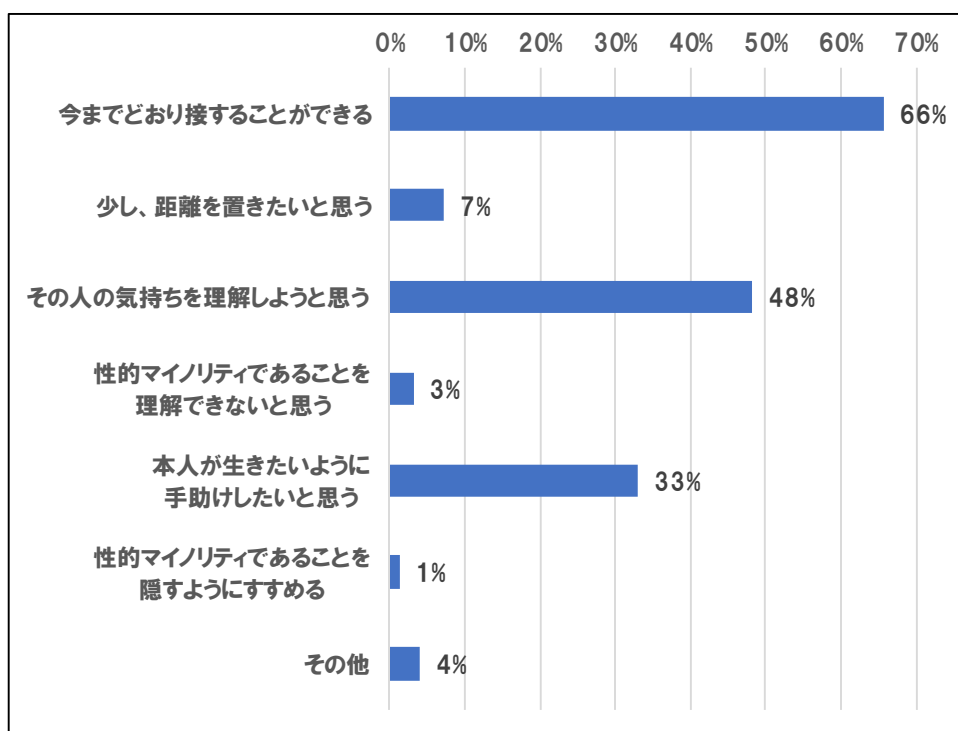
「性的少数者（性的マイノリティ）」という用語については、「知っている」「少しは知っている」を合わせて95%に達していた。

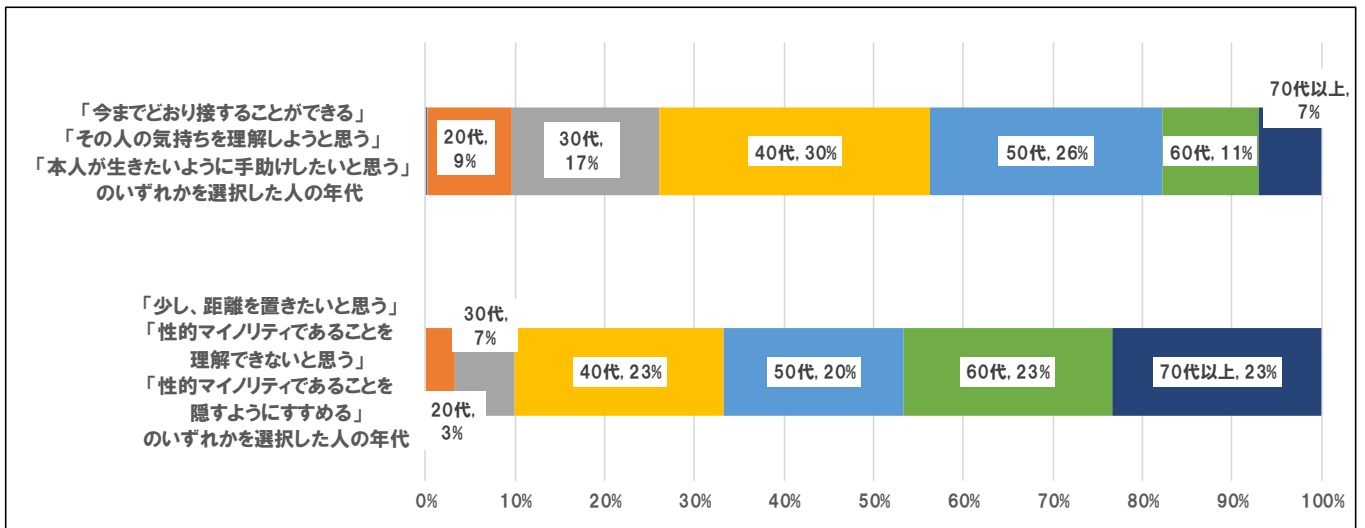
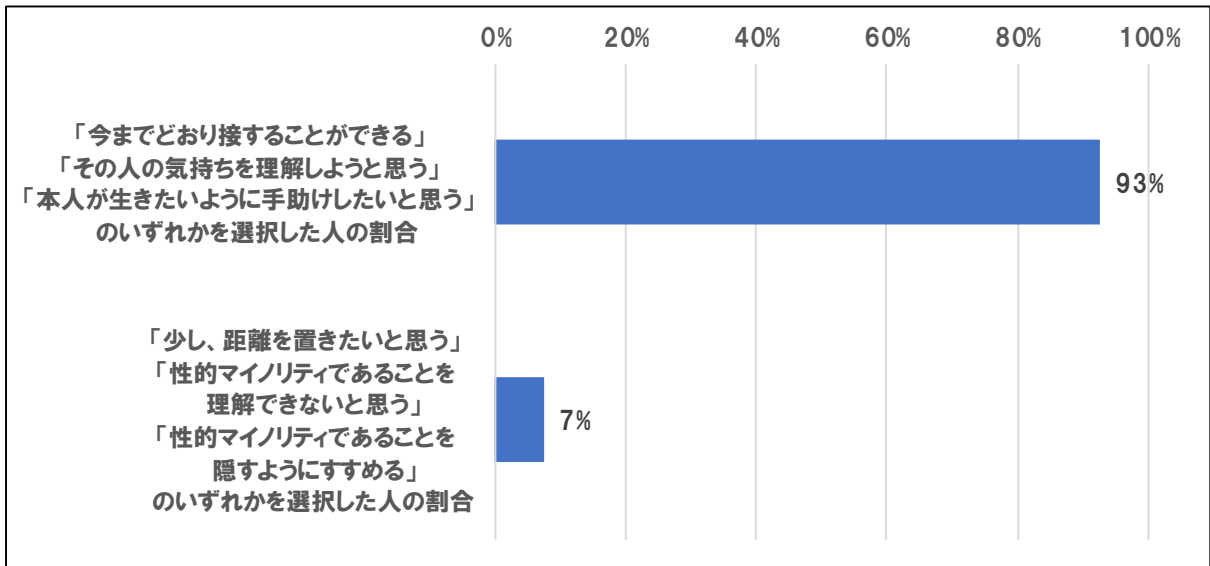
問2 あなたが、友人など身近な人から LGBT などの性的マイノリティであることを打ち明けられたらどうしますか。あなたの気持ちに近いものすべてに、チェックしてください。

今までどおり接することができる	308
少し、距離を置きたいと思う	34
その人の気持ちを理解しようと思う	226
性的マイノリティであることを理解できないと思う	15
本人が生きたいように手助けしたいと思う	155
性的マイノリティであることを隠すようにすすめる	6
その他	19
合計	763

【その他の内容】

- ・今までより興味をもつかもしいない。
- ・身近におられず経験がないので、その時にならないとはっきりしたことは言えないですが、支えになりたいとは思いますが。
- ・人それぞれだと思う。
- ・友人知人子供であれば理解しようと思うが、自分の親や配偶者だと抵抗を感じるかもしれない。
- ・話してくれたことを嬉しく思う。新たな気持ちで仲良くしていきたい。 など





「今までどおり付き合う」「その人の気持ちを理解しようと思う」「本人が生きたいように手助けしたいと思う」のいずれかを選択した人の割合は93%であった。

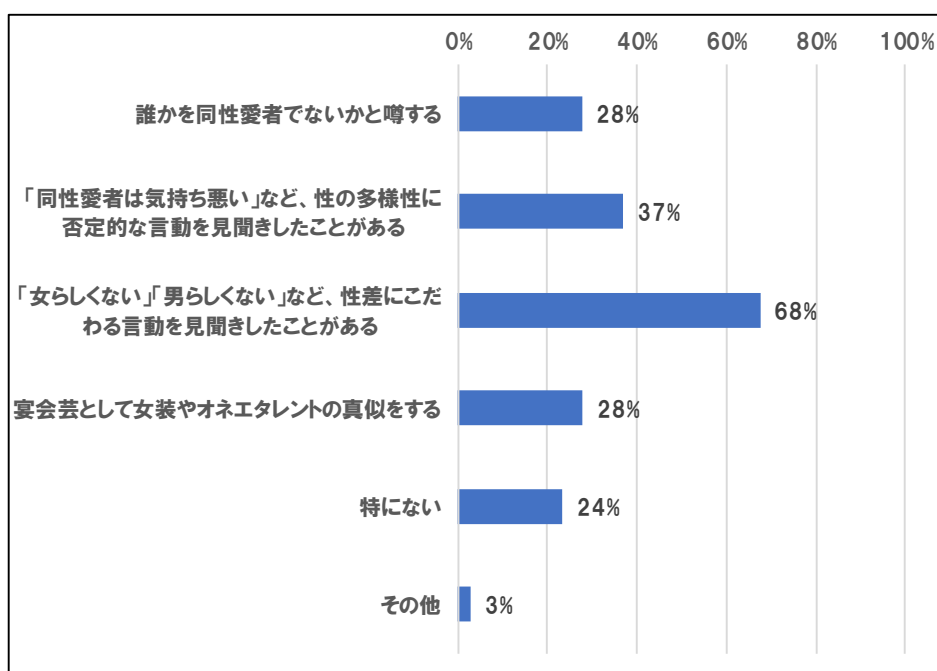
一方で、「少し、距離を置きたいと思う」「性的マイノリティであることを理解できないと思う」「性的マイノリティであることを隠すようにすすめる」のいずれかを選択した人も7%おり、60代・70代の割合が比較的高かった。

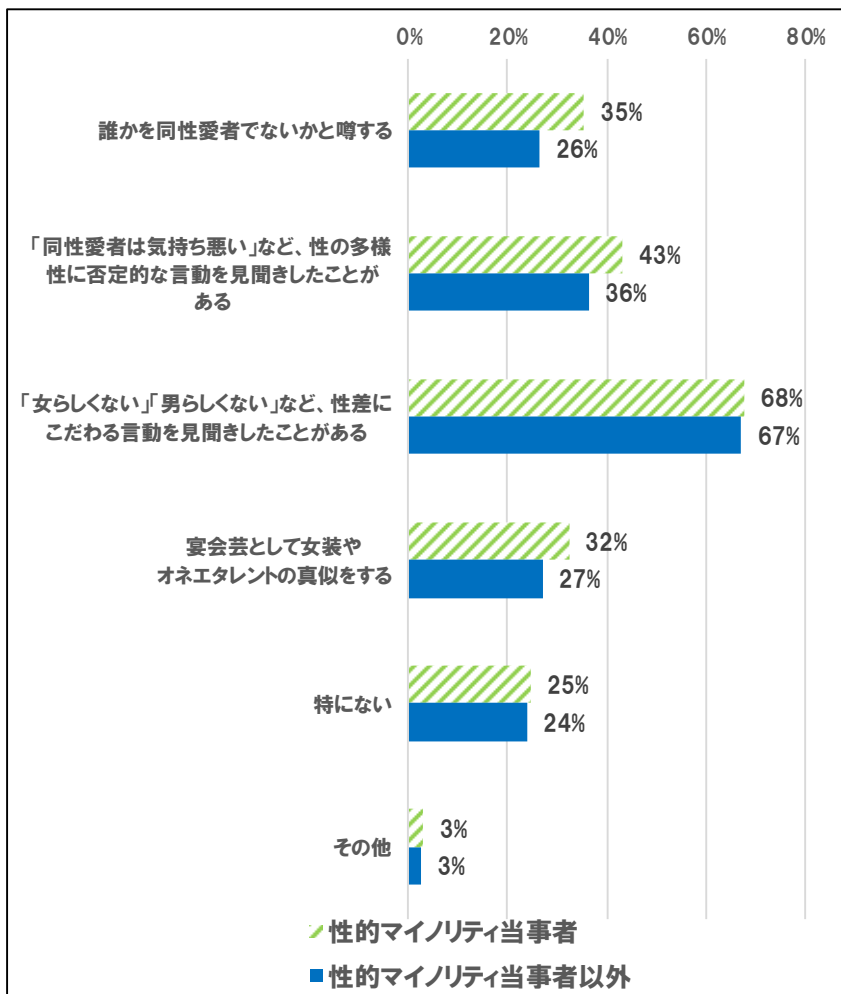
問3 あなたが、今まで体験したこと、または、見聞きしたことがあるものすべてにチェックしてください。

誰かを同性愛者でないかと噂する	130
「同性愛者は気持ち悪い」など、性の多様性に否定的な言動を見聞きしたことがある	173
「女らしくない」「男らしくない」など、性差にこだわる言動を見聞きしたことがある	316
宴会芸として女装やオネエタレントの真似をする	131
特にない	110
その他	13
合計	873

【その他の内容】

- ・身近な人に対しては無いが、テレビタレントや赤の他人に対して「おネエっぽい」と話題にのぼることはある。
- ・性同一性障害をどうしても理解できないという人がいた。 など

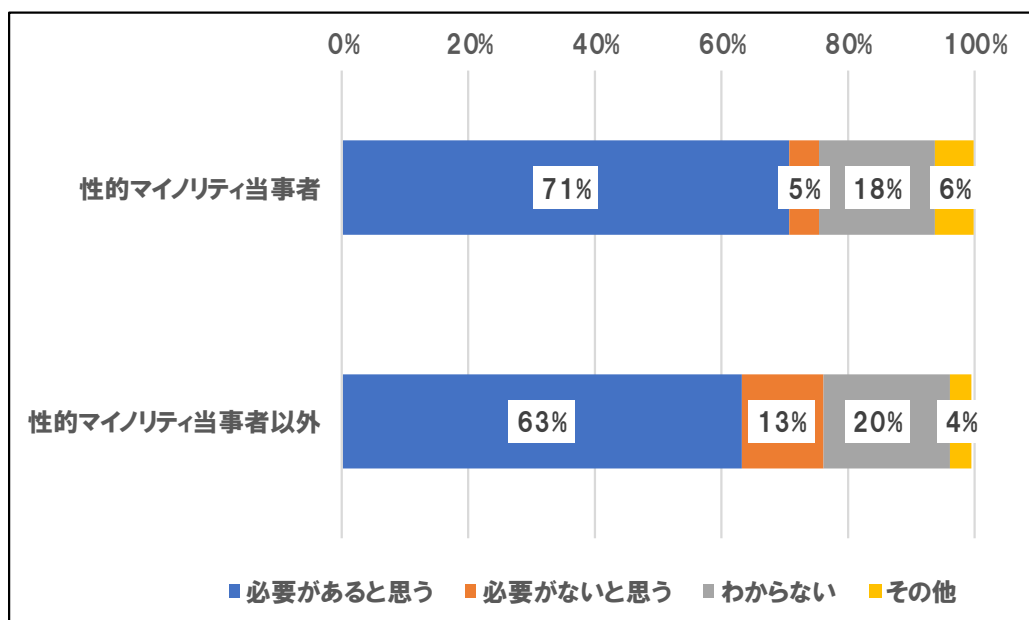
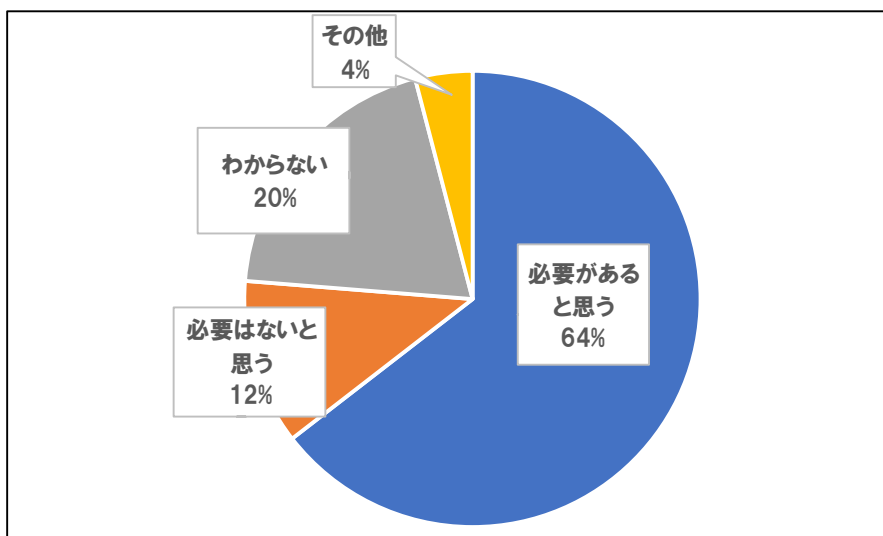




「『女らしくない』『男らしくない』など、性差にこだわる言動を見聞きしたことがある」という回答が最も多かった。また、「誰かを同性愛者でないかと噂する」「『同性愛者は気持ち悪い』など、性の多様性に否定的な言動を見聞きしたことがある」「宴会芸として女装やオネエタレントの真似をする」については、当事者の方が非当事者よりもやや多く経験していた。

問4 あなたは、幅広いパートナーのあり方を支援するために、同性パートナーシップ（同性カップル）の関係にあることの証明書の交付や宣誓の取組を、本市でも実施する必要があると思いますか。当てはまるもの一つに、チェックしてください。

必要があると思う	302
必要はないと思う	55
わからない	92
その他	19
合計	468



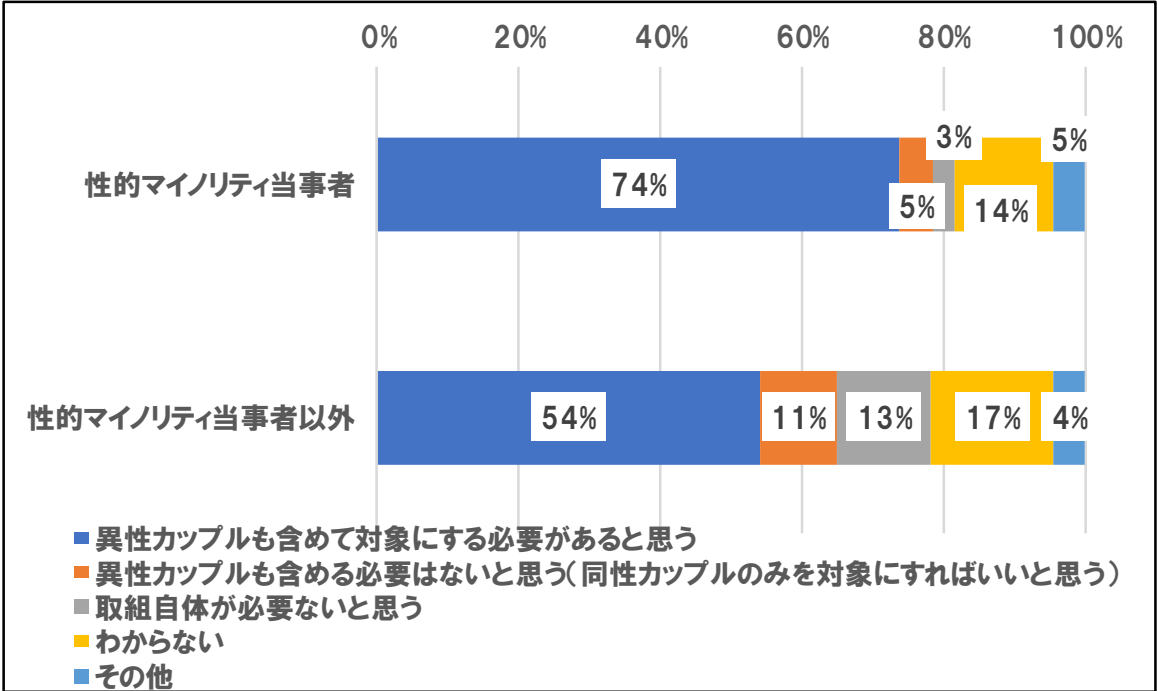
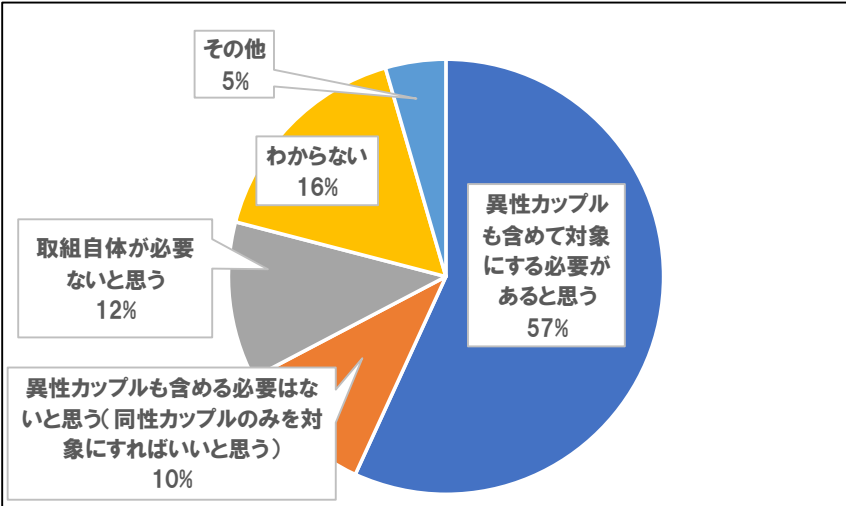
【その他の内容】

- ・その制度を求めるカップル達がいれば実施、で良いのかと思います。積極的には望んでない（そっとしておいてほしい）という話を聞いたこともあるので。
- ・婚姻関係でない場合の様々な行政サービスの提供の可否が課題
- ・制度設計は必要だと考えるが大げさにする必要はないと思う。「やって当たり前」の感覚が必要。
- ・単なる記念程度なら、あっても無くても良い。民法上の家族になるのかどうなのかが課題。
- ・本人たちが望むのであれば。ただ本当はそのような特別なものではなく異性カップルと同じ制度が適用されるのが望ましいと思う。 など

「必要があると思う」の回答が64%であった。性的マイノリティ当事者のみの回答では71%で、割合がやや高いとともに、「必要はないと思う」の回答も5%と割合が低かった。

問5 あなたは、幅広いパートナーのあり方を支援するために、パートナーシップの関係にあることの証明書の交付や宣誓の取組について、同性カップルに限らず、事情により婚姻に至らない異性カップルも含めて対象にする必要があると思いますか。当てはまるもの一つに、チェックしてください。

異性カップルも含めて対象にする必要があると思う	266
異性カップルも含める必要はないと思う（同性カップルのみを対象にすればいいと思う）	49
取組自体が必要ないと思う	55
わからない	77
その他	21
合計	468



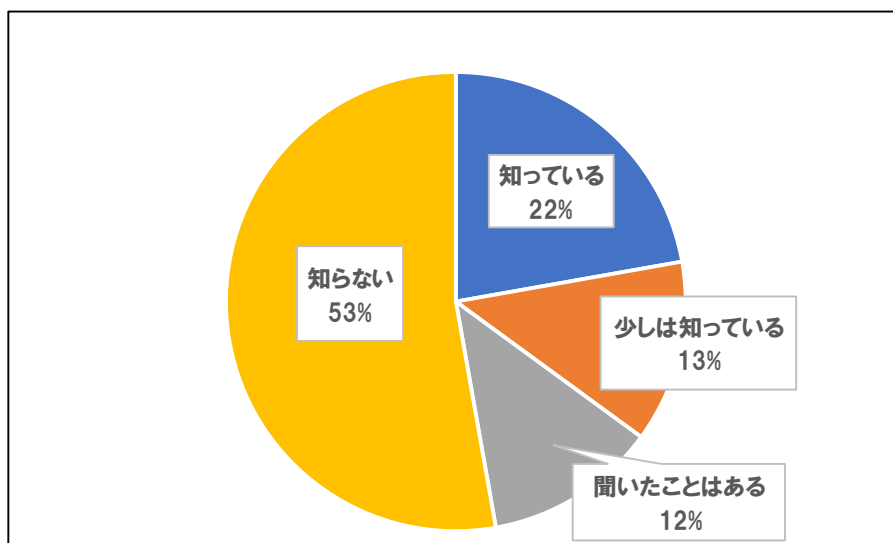
【その他の内容】

- ・それを交付、宣誓することで該当するパートナーたちが受けられる制度が増える（公平なサービスを受けられる）のではあれば取り組むべきだと思う。
- ・なぜ法律婚に至らないのか、理由によるかと思います。
- ・相続に関係ない場合は必要が無いと考えます。 など

「異性カップルも含めて対象にする必要があると思う」の回答が57%であった。性的マイノリティ当事者のみの回答では74%、当事者以外の回答では54%と顕著に差が見られた。

問6 「アウトティング」とは、性的指向（好きになる性）や性自認（自覚している性）について、本人の了解を得ずに、第三者に暴露する行為をいいます。「アウトティング」という言葉について、あなたの理解度として当てはまるもの一つにチェックしてください。

知っている	104
少しは知っている	60
聞いたことはある	57
知らない	247
合計	468



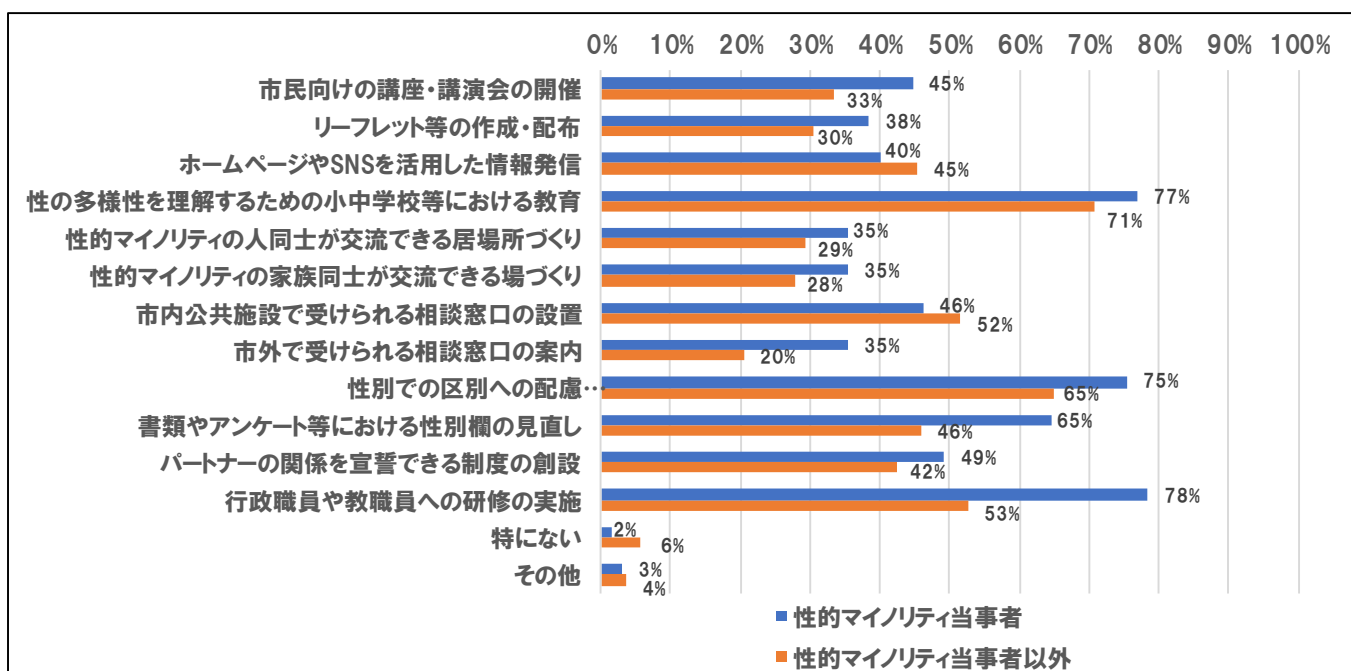
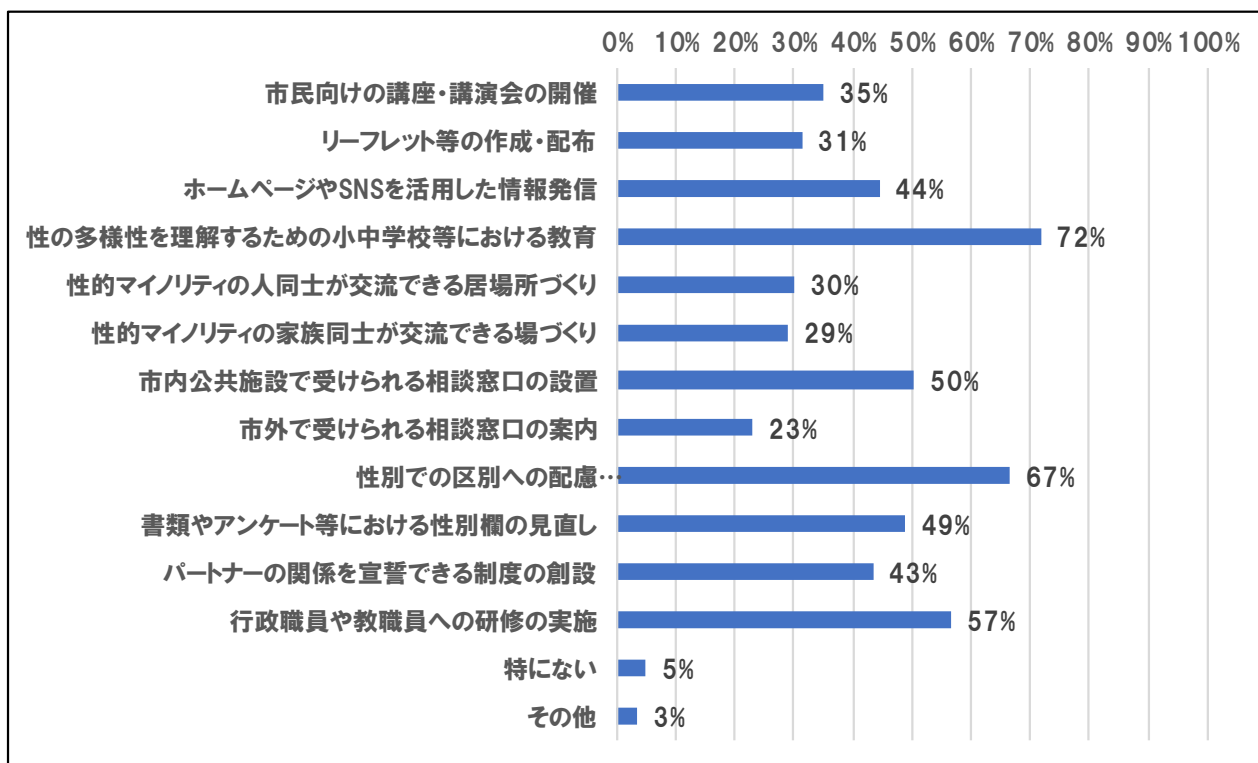
問1の「性的少数者（性的マイノリティ）」という用語に比べて、「知っている」「少しは知っている」を合わせても35%と低い割合となり、「知らない」が53%と半数以上であった。

問7 あなたは、性の多様性に対する理解の促進や支援のために、どのような取組が必要だと思いますか。当てはまるものすべてに、チェックしてください。

市民向けの講座・講演会の開催	164
リーフレット等の作成・配布	147
ホームページやSNSを活用した情報発信	208
性の多様性を理解するための小中学校等における教育	336
性的マイノリティの人同士が交流できる居場所づくり	141
性的マイノリティの家族同士が交流できる場づくり	136
市内公共施設で受けられる相談窓口の設置	236
市外で受けられる相談窓口の案内	108
性別での区別への配慮 (性別に関係なく選べる制服、多目的トイレの設置など)	312
書類やアンケート等における性別欄の見直し	229
パートナーの関係を宣誓できる制度の創設	203
行政職員や教職員への研修の実施	265
特にない	23
その他	16
合計	2,524

【その他の内容】

- ・そもそも、障害や疾患など多様性に対する理解や推進をもっと進めてからにして欲しい。
- ・テレビやバラエティでの男女差別の過剰演出を廃止すべき。影響が大きいから。
- ・性の多様性以前に、個人の尊重をもっと小中学校で教育するべきだと思う。今の日本人は同調圧力が強すぎる。自分は自分。他人は自分とは違うが尊重しあうという教育が必要。
- ・性的マイノリティに関することを、当事者、一般の人関係なく話し合え、理解しあう機会があったらよいと思う。 など

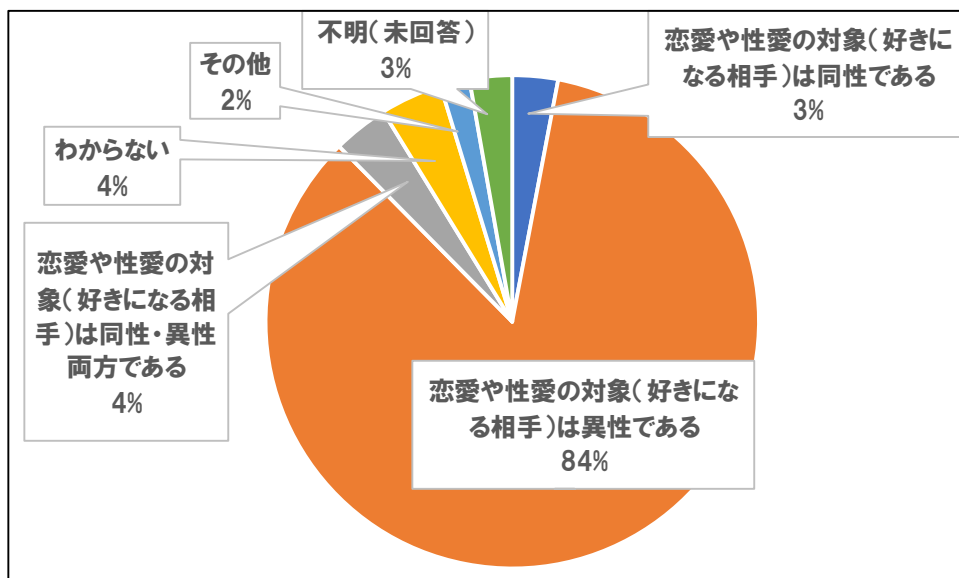


「性の多様性を理解するための小中学校等における教育」「性別での区別への配慮（性別に関係なく選べる制服、多目的トイレの設置など）」の2項目の回答が多かった。

一方、性的マイノリティ当事者のみの回答では「行政職員や教職員への研修の実施」の割合が78%と最も高くなっており、当事者以外の回答割合（53%）と顕著な差が見られた。「パートナーとの関係を宣誓できる制度の創設」の回答割合は当事者で49%であった。他にも、「市外で受けられる相談窓口の案内」「書類やアンケート等における性別欄の見直し」等は当事者と非当事者とで顕著な差が見られた。

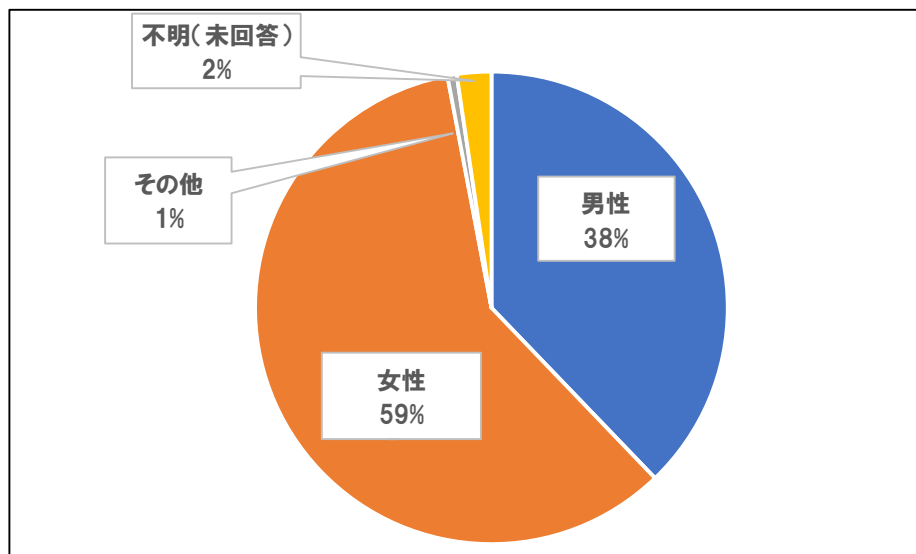
問8 あなたの恋愛や性愛の傾向（好きになる相手）を教えてください。当てはまるもの一つに、チェックしてください。答えたくない場合は無記入でかまいません。

恋愛や性愛の対象（好きになる相手）は同性である	14
恋愛や性愛の対象（好きになる相手）は異性である	396
恋愛や性愛の対象（好きになる相手）は同性・異性両方である	17
わからない	19
その他	9
不明（未回答）	13
合計	468



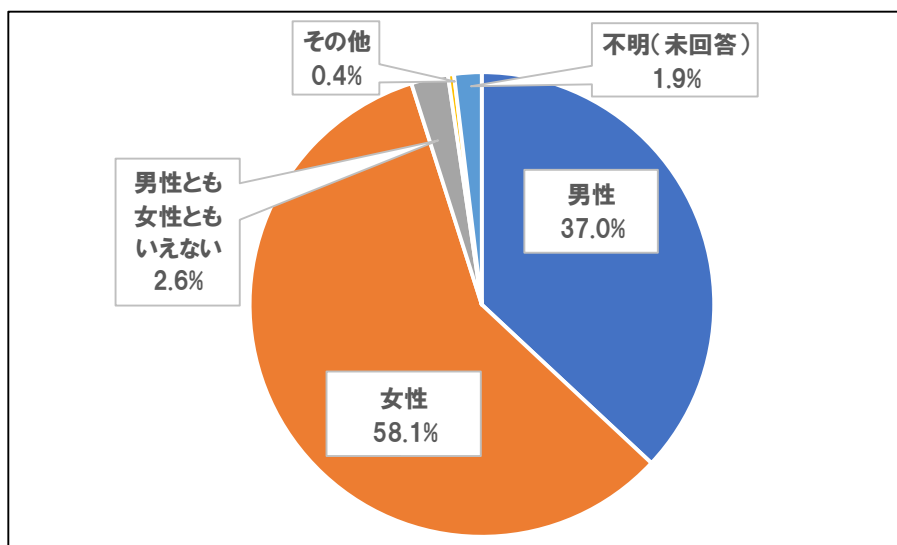
問9 あなたの戸籍上の性別を教えてください。当てはまるもの一つに、チェックしてください。答えたくない場合は無記入でかまいません。

男性	177
女性	277
その他	3
不明（未回答）	11
合計	468



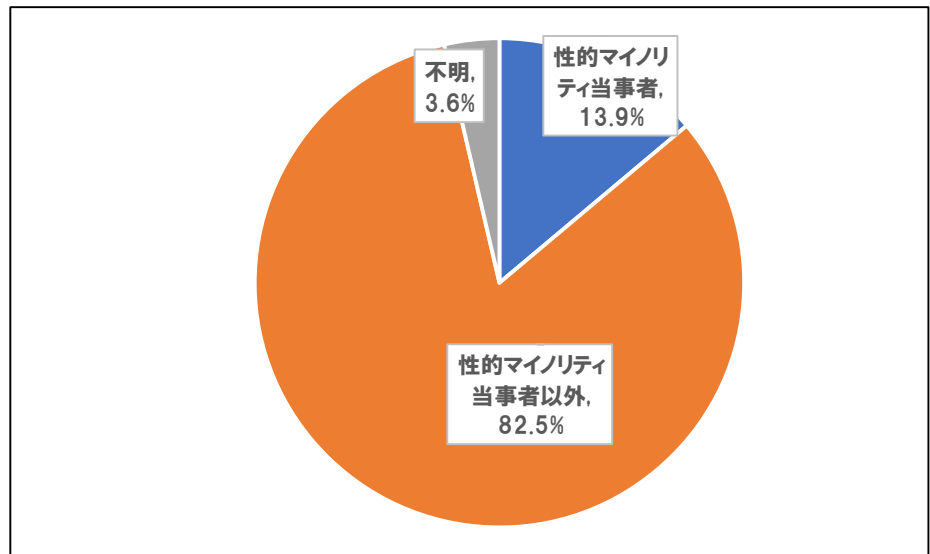
問10 あなたの自認（自覚）している性別を教えてください。当てはまるもの一つに、チェックしてください。答えたくない場合は無記入でかまいません。

男性	173
女性	272
男性とも女性とも いえない	12
その他	2
不明（未回答）	9
合計	468



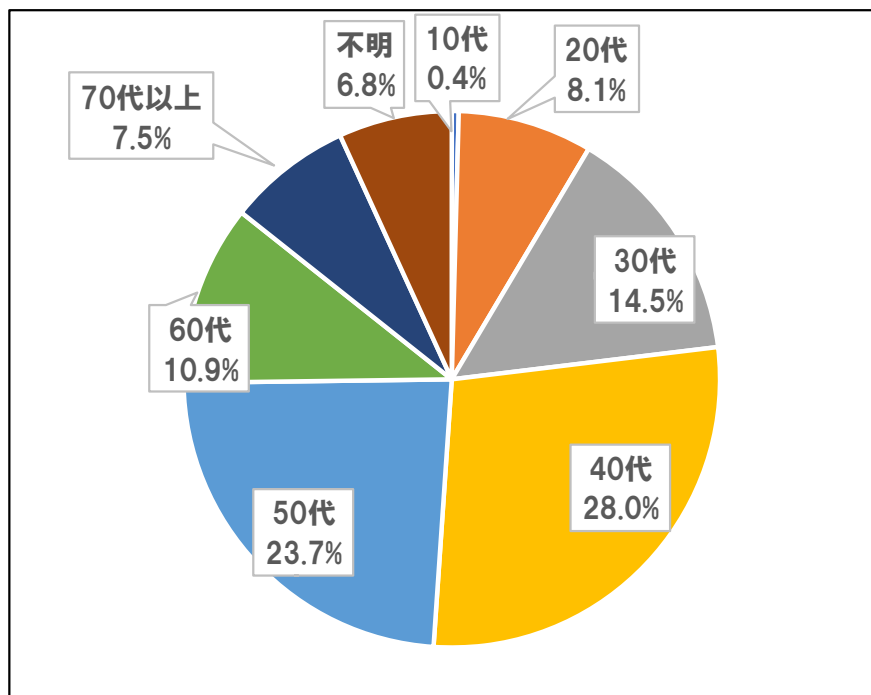
問8～問10の回答結果から、性的マイノリティ当事者、性的マイノリティ当事者以外、不明（未回答）に分類したところ、次のとおりとなった。

性的マイノリティ当事者	65
性的マイノリティ当事者以外	386
不明	17
合計	468



問11 あなたの年齢を教えてください。（回答日現在）

10代	2
20代	38
30代	68
40代	131
50代	111
60代	51
70代以上	35
不明	32
合計	468



問 12 性の多様性について、あなたのお考えを自由に記入してください。

【主な意見の要旨】

(1) パートナーシップ制度について（肯定的な意見）

- ・人権とは、全ての人に平等に与えられるものである。それに対し「少数派」であることを理由に本来与えられるはずの権利が与えられないという事はあってはならない。
- ・「普通に扱ってほしいという」のが共通点なのかと感じている。パートナーシップを支える制度が生まれたら、と思っている。
- ・それを交付、宣誓することで該当するパートナーたちが受けられる制度が増える(公平なサービスを受けられる)のではあれば取り組むべきだと思う。

(2) 「パートナーシップ制度について（否定的な意見）

- ・税金を使う対象かどうか慎重な判断が必要。多様なのは結構だが、行政が積極的に関わる必要はない。
- ・性の多様性について理解はでき、差別することはない。だからこそ、その人たちへの特別な何か（証明書など）も必要ないと思う。特別扱いすることが差別だと思う。
- ・まずは教育である。
- ・法律上、同性結婚が容認されていないのに、発行する意味は無い

(3) 社会のあり方について

- ・自分らしく生きられることが大事だと思うので、性の多様性に限らず、障害もガンなどの病気も、堂々と普通に語れる世の中（伊勢原市）になって欲しい。そういう人や団体が困った時に救いのある市であって欲しい。
- ・昨今マスコミで人気取りとして、女装している人が多く見受けられる。気軽な気持ちでテレビに出ている。本当に、苦しんでいる人は辛いものである。マスコミのあり方また、社会のあり方を考えるべきである。

(4) 批判的な意見への対応について

- ・LGBTを受け入れ難いという人もいらっしゃるので、このアンケートなどが、その人たちへのバッシングに繋がらないことを願う。
- ・性的マイノリティの方たちを、受け入れられない理解できないという方もいるとは思う。それはそれで良いと思う。ただ、存在を否定しない、理解しなくても知っている事は大事だと思う。

(5) 教育・研修について

- ・子どもが生きにくいと感じる前に保護者や学校で大人が気づいてあげられることが大事なのではないか。教師にはLGBTと共に虐待などの研修をきちんとして欲しいと常々思っている。
- ・性の多様性に関する理解がかなり以前から言われているにも関わらず、大変傷つけるような発言が、政治家や議員から繰り返されている。そのような人たちにこそ、研修や実際に会って話をする必要性を感じる。
- ・LGBTに限らず、弱者や自分と違うモノを受容できるように、個の尊重、差別についての教育を深めるべき。

(6) 行政の対応について

- ・性的マイノリティであることによって社会的な不利益があるのであれば、それを取り除いていくという方向が良いのではないかと思います。行政の対応としては、その観点で修正できる部分があれば修正していくのが良いと思う。生理的感情的嫌悪感を抱く人も存在するが、そのこと自体を防ぐことはできないので、社会的平等がまずひとつの到達点ではないかと思います。
- ・性自認は、本人が好んで選択しているわけではないので、自己責任、趣味のように扱うなどの偏見誤解を解く活動が必要。
- ・理解してほしいので、LGBTQについての講演会などをあまりにもしすぎるといふかLGBTQのことをとりあげすぎるのも、また差別ではないかなとも思ってしまう。
- ・やはりまずは知ること。知ろうともしない人が大半な気がするので、情報発信は多い方がいいかなと思う。どこか遠い場所の話では無いと、みんなが人ごとでないと感じて欲しい。